

科目名	児童家庭福祉		担当教員	金子重紀		
			担当形態	単独		
テキスト	「子どもと家庭の福祉を学ぶ」 ななみ書房	単位数 授業形態	2単位	講義	開講時期	後期
<p>講義概要</p> <p>■到達目標 以下の点を学びながら、前期「社会福祉」の授業と合わせ、自分自身が福祉現場（保育も含め）の中でどう生き、働くかを考え、自分なりに表明できることが最終的な目標です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代社会における児童家庭福祉の理念と意義 ・児童家庭福祉の現代的背景 ・児童家庭福祉の法制度および子育て支援施策 ・児童家庭福祉と保育の関連性や子どもの人権の視点 ・児童に対する相談援助活動 ・児童福祉現場を担う専門職とその連携の在り方 ・児童福祉の動向と展望について <p>■授業の概要 前期「社会福祉」の授業を踏まえながら、子どもの「福祉」に焦点を当てて展開をします。「無縁社会」の中で家庭もまた「無縁家庭」となる傾向を強めています。そうした意味で、この授業では児童家庭福祉の基礎的な制度、理念、現状を学ぶと同時に、「無縁家庭」がもたらす育児不安、児童虐待などの子育てにおける課題についても理解を深めていきます。</p> <p>■授業計画</p> <p>第1回 オリエンテーション 児童家庭福祉とは 第2回 現代社会と児童家庭福祉① 児童家庭福祉の歴史の変遷 第3回 現代社会と児童家庭福祉② 児童福祉および関連法制度 第4回 少子化社会と児童家庭福祉需要 第5回 児童福祉法上の施設の概要 第6回 児童虐待について① 第7回 児童虐待について② 第8回 非行 第9回 障がい 第10回 子育て支援サービスおよび児童福祉の現場を担う専門職の制度① 第11回 子育て支援サービスおよび児童福祉の現場を担う専門職の制度② 第12回 児童に対する権利保障および相談援助 第13回 まとめ① 期末試験 第14回 子どもたちがいきいきと生きる社会 第15回 まとめ②</p> <p>■準備学習 前回授業で与えられた資料及び教科書の関連ページを復習し、授業内容の理解を深めた上で、次回の授業に出席すること。</p> <p>■評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期末試験 — 70% ・授業への参加状況（討議への積極的な取り組み、発言内容） — 30% 						
参考文献	特になし。		特記事項	特になし。		
卒業・免許状・資格との関連	保育士資格必修 社会福祉主事任用資格選択必修		幼			
			保	保育の本質・目的に関する科目		